

お 知 ら せ

件 名	平成19年度北海道開発局関係補正予算について
-----	------------------------

お知らせ内容

平成19年度北海道開発局関係補正予算について、別紙のとおりお知らせします。

平成19年度 北海道開発局関係補正予算について

平成19年度補正予算については、緊急防災等のための一般公共事業費等予算が計上されました。

(主な事業) (※具体例はP4以降参照)

- ・近年の台風災害等に対応した石狩川や常呂川等における洪水対策
- ・近年の豪雨災害の被災地における土砂災害対策
- ・再度・類似災害防止のための海岸保全施設整備
- ・法面对策等の道路防災対策、橋梁・トンネル等道路工作物の保全対策
- ・台風等による再度・類似災害防止のための港湾整備
- ・豪雨等による再度・類似災害防止のための空港整備 等

また、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るため、国庫債務負担行為(ゼロ国債)が計上され、事業の平準化を推進することとされました。

○緊急防災対策

		うち一括配分
直轄事業	362億円	(106億円)
補助事業	13億円	(13億円)
計	376億円	(119億円)

○国庫債務負担行為(ゼロ国債)

直轄事業	624億円	(103億円)
補助事業	230億円	(117億円)
計	855億円	(220億円)

平成19年度 北海道開発局関係補正予算(事業費)

【直 轄】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	15,322	—	
海 岸	748	—	
道 路 整 備	16,535	7,659	
港 湾 整 備	600	—	
空 港	100	—	
道 路 環 境	2,229	2,229	
官 庁 営 繕	697	697	
合 計	36,231	10,585	

【補 助】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	364	324	
道 路 整 備	980	980	
合 計	1,344	1,304	

【合 計】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	15,686	324	
海 岸	748	—	
道 路 整 備	17,515	8,639	
港 湾 整 備	600	—	
空 港	100	—	
道 路 環 境	2,229	2,229	
官 庁 営 繕	697	697	
合 計	37,575	11,889	

注1 計数整理の結果、異動を生じることがある。

2 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成19年度 北海道開発局関係補正予算(事業費)

【直 轄】 (単位:百万円)

事 項	ゼ 口	国 債		備 考
		一 括 配 分		
治 水	9,795	38		
道 路 整 備	32,350	5,690		
港 湾 整 備	6,820	1,857		
空 港	599	—		
道 路 環 境	2,710	2,470		
都 市 水 環 境	227	227		
都 市 公 園	300	—		
農 業 農 村 整 備	6,830	—		
水 産 基 盤 整 備	2,800	—		
合 計	62,431	10,282		

【補 助】 (単位:百万円)

事 項	ゼ 口	国 債		備 考
		一 括 配 分		
治 水	4,218	2,212		
海 岸	1,530	—		
道 路 整 備	6,170	5,150		
住 宅	334	334		
市 街 地 整 備	705	—		
道 路 環 境	1,552	300		
下 水 道	4,280	2,900		
都 市 公 園	1,202	802		
農 業 農 村 整 備	1,611	—		
水 産 基 盤 整 備	1,433	—		
合 計	23,035	11,698		

【合 計】 (単位:百万円)

事 項	ゼ 口	国 債		備 考
		一 括 配 分		
治 水	14,013	2,250		
海 岸	1,530	—		
道 路 整 備	38,520	10,840		
港 湾 整 備	6,820	1,857		
空 港	599	—		
住 宅	334	334		
市 街 地 整 備	705	—		
道 路 環 境	4,262	2,770		
都 市 水 環 境	227	227		
下 水 道	4,280	2,900		
都 市 公 園	1,502	802		
農 業 農 村 整 備	8,441	—		
水 産 基 盤 整 備	4,233	—		
合 計	85,466	21,980		

注1 計数整理の結果、異動を生じることがある。

2 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

近年の台風災害等に対応した常呂川における洪水対策

北海道 北見市

平成18年8月および10月の豪雨により、常呂川では計画高水位を上回る洪水が発生し、その支川である無加川では河岸侵食・洗掘を受け、さらに平成19年の融雪出水により侵食等が進行し、既設ブロック等の一部が破損・流出している状況にある。次回出水によりさらに河岸の侵食・洗掘が進行すると堤防が危険となることから、北見市街地を洪水による被害から守るため、緊急的に河岸保護工による対策を実施するものである。



H18年10月洪水時の状況(常呂川)



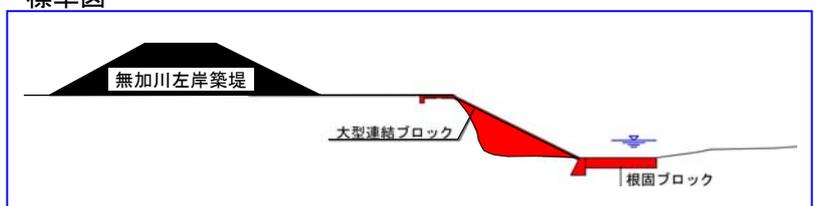
H18年10月洪水時の状況(無加川)



ブロックの下が洗掘され、破損・流出が生じており、緊急な対策が必要



標準図



いしかりがわ
石狩川水系 直轄砂防事業(リクマンベツ川渓流保全工)
北海道上川郡上川町

1. 概要

リクマンベツ川は、脆弱な地質構成であり、流域内に崩壊地が多数ある。大量の土砂や流木が堆積し、洪水時には保全対象である旭川圏から網走圏を結ぶ重要交通網である国道39号や、宿泊施設などに甚大な被害を与える危険性が高い。平成18年10月及び平成19年9月には、上川地方の大雨により石狩川左岸山腹法面が崩壊し、土砂・流木により河川が一部閉塞する被害があった。このように石狩川上流域では、近年土砂流出被害が発生しており、地域が継続的に発展するための基盤整備に向け、土石流危険渓流であるリクマンベツ川渓流保全工の早期整備を図ることが必要である。

2. 事業主体

国

3. 事業内容

遊砂土工

4. 事業効果

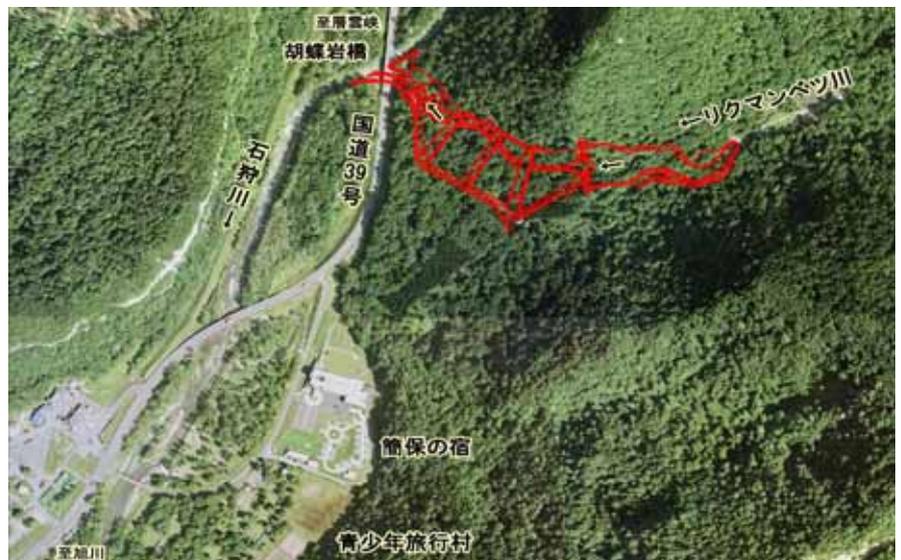
リクマンベツ川渓流保全工の早期整備が図られ、重要交通網などの保全対象を守り、地域の安全や継続的発展に寄与することができる。



平成18年10月7日～9日発生
 の低気圧による降雨により、石
 狩川左岸の山腹法面が崩落。



平成19年9月26日発生の上川
 地方の大雨による石狩川左岸
 (温泉街)の斜面崩落による一
 部河道閉塞の発生。



リクマンベツ川土砂・流木堆積

いぶり しらおい
胆振海岸保全施設整備事業（北海道白老町）

1. 事業概要

胆振海岸は、海岸侵食により前浜が消失し、波浪が減衰することなく海岸に押し寄せ、越波による災害が多発している海岸であり、人工リーフと緩傾斜護岸の整備を実施している。

2. 事業主体

北海道開発局

3. 事業内容

人工リーフ

4. 事業効果

当海岸では、平成19年5月の低気圧等により沖合施設のない直立堤部において、越波による国道36号線の車線規制があった。波力低減のため、緊急的に人工リーフの整備を行い越波の早期解消を図る。



一般国道336号 えりひろぼうさい 襟広防災

一般国道336号は太平洋沿岸沿いに浦河町から釧路市に至る幹線道路であり、襟広防災は、通行規制区間の解消、落石・土砂崩壊等の危険箇所を解消を図り、安全で確実な交通の確保を目的とした延長18.7kmの防災事業です。

平成19年度補正予算により、当該事業区間における防災対策を推進し、国道336号の安全性・信頼性を確保するものであります。

具体的には、落石・土砂崩壊等の危険がある箇所において、今回の補正予算により斜面对策を実施し、平成20年度に当該危険箇所の解消を図ります。

〔位置図〕



〔大雨による被災状況〕



襟広防災 L=18.7km



十勝港 外港地区 防波堤（外南）

1. 事業概要

十勝港外港地区において、小型船の航行安全と作業効率向上を目的とした小型船だまりの整備を行っている。

本地区は平成18年10月、道東釧路沖を通過した低気圧の波浪により、防波堤が整備途中であったため港湾施設に被災が発生したことから、再度災害防止のため、被害の防止・軽減に資する防波堤（外南）の整備を推進する。

2. 計画内容

箇所名：十勝港 外港地区

実施内容：防波堤（外南）

【位置図】



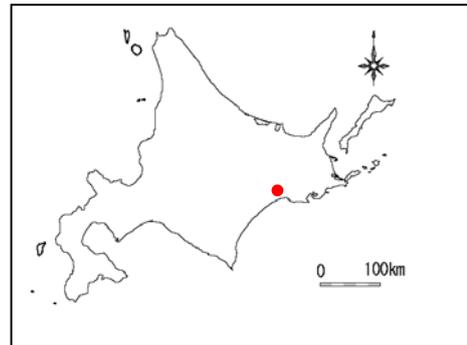
釧路空港南側高盛土改良

1. 概要

釧路空港は、道東の拠点空港として、地域経済の発展に重要な役割を担っています。

空港南側の高盛土は、航空機の大型化への対応及び冬期の安定運航を目的とした滑走路延長時に合わせて造成をしており、航空機の離発着に必要な無線施設が設置されるなど重要な施設となっています。

本改良は、平成19年9月の低気圧による大雨により、被害を受けた空港南側の高盛土が同様の法面崩落を繰り返さないように再発防止を目的として法面排水路の整備を行うものである。



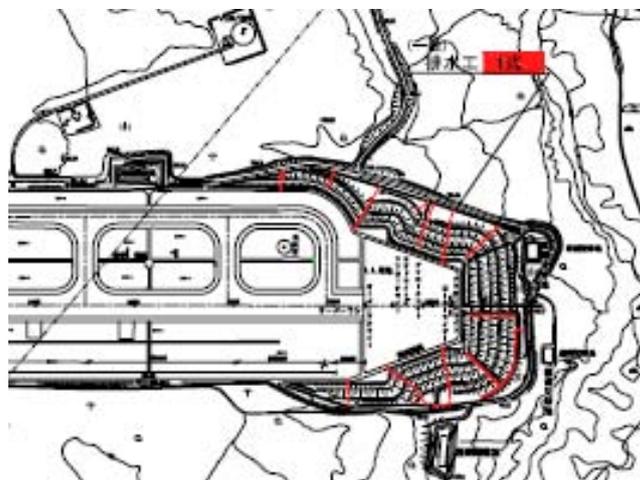
2. 実施内容

空港名：釧路空港

実施内容：法面排水工 1式



釧路空港全景(赤丸で示した区域が南側高盛土)



法面排水路設置平面図